



東京宝島
TOKYO
TREASURE ISLANDS



青ヶ島のコアなファンが集う！～オンライン交流会で島への思いを深める時間～

今年度の青ヶ島では、島会議公式Twitterアカウント「ハロー青ヶ島」 (@hello_aogashima) を立ち上げ、「#ハロー青ヶ島」を付けた投稿により青ヶ島のコアなファンのみなさんとつながりを持ち続けようとして取り組んできました。

本来であればもっと訪問していただきたいところですが、青ヶ島に行かずとも島のことを想っていただけるよう、2022年1月30日（日）にYouTube配信による「オンライン交流会」を企画しました。



オンライン交流会の内容は多岐にわたり、島の地理、自然に関する現地でのガイダンスや郷土芸能、人気のYouTubeチャンネル「青ヶ島ちゃんねる」とのコラボレーションなど、チームが協力してコンテンツを準備しました。

#ハロー青ヶ島 オンライン交流会 プログラム紹介



ハロー青ヶ島オンラインガイド

冊子「Hello!青ヶ島」に掲載した島内の様々なスポットを動画で紹介。ひとりで歩いててもなかなか気づかない、青ヶ島旅の発見をお伝えします。

【配信時間】
オンラインガイド動画「自然に気づく」
13:40～14:20
オンラインガイド動画「歴史を感じる」
15:30～16:00



「青ヶ島ちゃんねる」コーナー

冊子「Hello!青ヶ島」のデザインを担当した佐々木加絵さんの「青ヶ島ちゃんねる」とのコラボ企画。
パワースタジアム「ハロー青ヶ島」でもみなさまにご投稿いただいた「青ヶ島の美しい景色」をご紹介します。

【配信時間】 14：30～15：00



青ヶ島の郷土芸能

青ヶ島の郷土芸能団体「青ヶ島連打太鼓」による、青ヶ島の太鼓・郡歌・島唄の紹介コーナーです。

本大会イベントはもろもろのこと、島内のお祭りもできなかったこの2年、みなさまになかなかお披露目する機会がなかった青ヶ島の郷土芸能を、オンラインでお届けしたいとおもいます。ぜひお楽しみに！演習太鼓の書きをどうぞお楽しみください！

【配信時間】 15：00～15：30



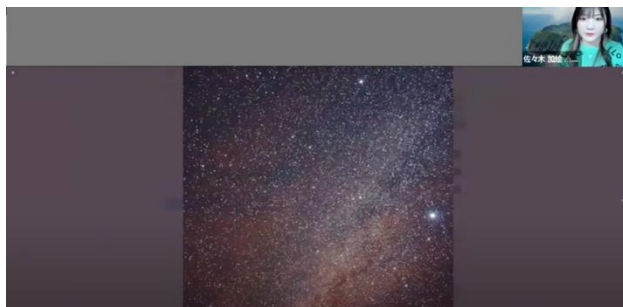
ハロー青ヶ島制作チーム対談

2019年にスタートした青ヶ島の東京宝島事業。島内有志の方々にご参加いただき「島会議」を重ねながら様々な取り組みを続けてきました。2020年、予想だにしなかったコロナ禍に直面されるなか、参加メンバーは「いまだ地帯のためにできることは何なのか？」何度も話し合いを重ねました。わたしたちの冊子「ハロー青ヶ島」の制作へたまたどり着き、実際にカタチにしていくなかで過程を支えてくれた制作メンバーの方々と一緒に、制作までの秘話やこれからの展望について対談します。

「ハロー青ヶ島オンラインガイド」では、昨年作成した冊子「Hello! 青ヶ島」のマップをもとに地域コーディネーターの荒井さんが事前に収録した動画を公開し、青ヶ島のリアルな風景を案内しました。ダイナミックな山の頂上からのパノラマ映像や青ヶ島の珍しい植物についての説明のほか、青ヶ島の歴史についても紹介しました。



「青ヶ島ちゃんねる」コーナーでは、「Hello!青ヶ島」のデザインを担当した佐々木加絵さんが案内人となり、「#ハロー青ヶ島」でコアファンの皆さんがSNSへ投稿した島の姿を一緒に見ていきました。青ヶ島の星空の様子をとらえた写真は息をのむ美しさです。



青ヶ島の伝統芸能として伝わる選住太鼓の演奏も披露されました。伊豆諸島南部の太鼓芸能の特徴は1つの太鼓を2人で叩くところにあります。また、演奏は即興的に行われます。たたき手が次々と入れ替わり、ダイナミックに演奏される様子は参加者に大好評でした。





東京宝島
TOKYO
TREASURE ISLANDS



最後のパートでは「Hello!青ヶ島」冊子の制作に関わった方々が集まり、当時の思い出や苦労話などに花が咲きました。島に注目が集まる中、ただ広く受入の間口を広げるのではなく、青ヶ島のことを理解してくれる人に来ていただけるようにしたいという思いについても、改めて確認ができました。

3時間半に及ぶオンライン交流会でしたが、常時100名以上の方にご参加いただき、チャットコーナーでは参加者同士の会話が盛り上がるなど積極的な交流がはぐくまれた会となりました。また青ヶ島に安心して来ていただける日が来るまで、オンラインを活用して青ヶ島を愛してくれる方々とつながり続けていきたいものです。